

# 取扱説明書

Xシリーズ

## データ設定アプリケーション (Xi) (ET-DSETAP-Xi)

---

Ver3.1.0.X

## 利用規約

本規約に同意いただいた場合のみ使用していただくことができます。

### 1. 著作権

データ設定アプリケーションXi〔以下本プログラムという〕の著作権は株式会社日立情報通信エンジニアリングおよび株式会社ナカヨが所有する。

本規約の定めによるもの以外、本プログラムのどの部分も、当社からの事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写機、記録などいかなる方法、いかなる形でも、転送、複製、検索システムに登録してはならない。

### 2. 使用範囲

本プログラムの使用はシステムデータ設定および電話帳データ設定に限る。

### 3. 複製の制限

使用にあたって登録会社内で、当社の製品の設置やメンテナンスの目的で使用する範囲で、複製を作成してもよい。

### 4. 制限事項

他者に本プログラムの複製を分配したり、あるいはネットワーク上で1つのコンピュータから他のコンピュータへ本プログラムを送してはならない。本プログラムは企業秘密を含み、同秘密を保護するために、本プログラムを逆コンパイル、解析、逆アセンブル、その他人間が認知できるような形態に変更してはならない。さらに、本プログラムやその一部を、修正、改造、翻訳、賃貸、賃借、貸与、利益のための再販売、配布、ネットワーク接続し、あるいは本プログラムやその一部に基づく派生的作品を作成してはならない。

### 5. 本プログラムの所有権

使用にあたって登録会社はプログラムが記録あるいは固定された媒体を所有するが、オリジナルの媒体に記録された本プログラム、並びにその後作成される本プログラムのすべての複製に対する権利および所有権は、当該オリジナルおよび複製が存在する形態や媒体にかかわらず、当社が保持する。

### 6. 機密保持

使用にあたって登録会社は、本プログラムの機密性を保持し、当社の事前の書面による明示的同意なしに、本プログラムをいかなる第三者にも開示しないこと。さらに、登録していない者の本プログラムに対するアクセスを阻止するために、あらゆる合理的な手段を講じること。

### 7. 個人情報の管理、保護

本プログラムを使用して確認出来る個人情報（お客様のデータ設定、電話帳データ等）は、使用を目的とする特約店様、販売店様がお客様に承諾を得た上で管理、利用すること。また、個人情報を管理する特約店様、販売店様については、個人情報の漏えい、改ざんなどの危険にさらされないように取り扱い権限者の明確化などの組織的な対応、さらに悪意をもった者の不正なアクセスを阻止するためにあらゆる合理的なセキュリティを確保すること。

#### 【個人情報管理、保護に対するお客様へのご説明内容】

- ①使用目的：本プログラムを使用することにより、工事／保守時間の短縮を図ることを目的とする。
- ②お客様の主装置へのアクセスについては、販売店が教育した特定の保守者が実施する。
- ③お客様データ、電話帳への登録情報は事前の書面による明示的同意なしに、いかなる第三者にも開示しない。

### 8. 賠償責任の制限

収益上の損失、貯蓄の損失、あるいはデータの消失を含むいかなる偶発的、結果的、あるいは間接的損害についても、またはその他の何らかの当事者によるいかなる請求についても、当社はいかなる責任をも負うものではない。

### 9. 輸出

本プログラムまたは関連文献を輸出（海外提供）される場合には、外国為替および外国貿易法の規則ならびに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続きを取ること。

## —— 目次 ——

### ■第1部《概要編》

1. はじめに(必ずお読みください) .....	1-1
1-1 本プログラムの概要 .....	1-1
1-2 パソコンのハードウェア条件 .....	1-2
1-3 接続方法 .....	1-2
1-4 新規インストール .....	1-4
1-5 更新版のインストール .....	1-5
1-6 アンインストール .....	1-6
1-7 現在使用している主装置の設定を変更するときの注意 .....	1-7
1-8 Q&A集 .....	1-8

### ■第2部《パソコンデータ設定編》

1. 本プログラムの操作の流れ .....	2-1
2. プログラムの起動～主装置データの読み込み .....	2-2
3. ユーザー情報設定 .....	2-5
4. データ設定 .....	2-6
●Excel <sup>®</sup> を使用して各種データを作成、編集する .....	2-13
5. 設定内容の印刷 .....	2-18
6. 主装置への設定データの書き込み .....	2-22
7. ログデータの保存 .....	2-25
8. 設定用二次元コードの作成 .....	2-27

※本説明書内の画面は一例です。プログラムの種類やバージョン、パソコンの環境によって異なる場合があります。本説明書中の画面は、Windows<sup>®</sup> 10の例で記載しています。

---

●Windows<sup>®</sup> 10はMicrosoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 10 operating systemの略です。

●Windows<sup>®</sup> 11はMicrosoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 11 operating systemの略です。

●Microsoft, Windows, Excel, Microsoft Edgeは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

## 1. はじめに(必ずお読みください)

### 1-1 本プログラムの概要

本プログラムは以下のことができます。

●主装置のデータ設定、電話帳関連データなどをパソコンに読み込む

データ設定(ワンタッチダイヤルボタンなどのデータを含む)と電話帳関連データは別々に読み込みます。  
新規工事以外で設定を変更する場合は、必ず最初に行ってください。

●パソコン上で主装置のデータ設定、電話帳関連データなどを作成する \*

作成した内容をファイルに保存したり、ファイルから読み込んだりできます。扱えるのは以下のデータです。

- ・データ設定
- ・ボタン設定(ワンタッチダイヤル、内線ワンタッチ、ボックス、なんでもワンタッチ、プログラマブルキー、各種ゴミ箱)
- ・電話帳データ(内線電話帳、外線グループ名、相手区分名、付加情報定型文、ワイヤレス呼出ボタン名称のデータも含む)
- ・発信規制番号
- ・着信拒否番号

データ設定については主装置の「工事・保守マニュアル」の「データ設定マニュアル編」を見ながら設定を行ってください。

●パソコン上のデータを主装置に書き込む

データ設定(ワンタッチダイヤルボタンなどのデータを含む)と電話帳関連データは別々に書き込みます。

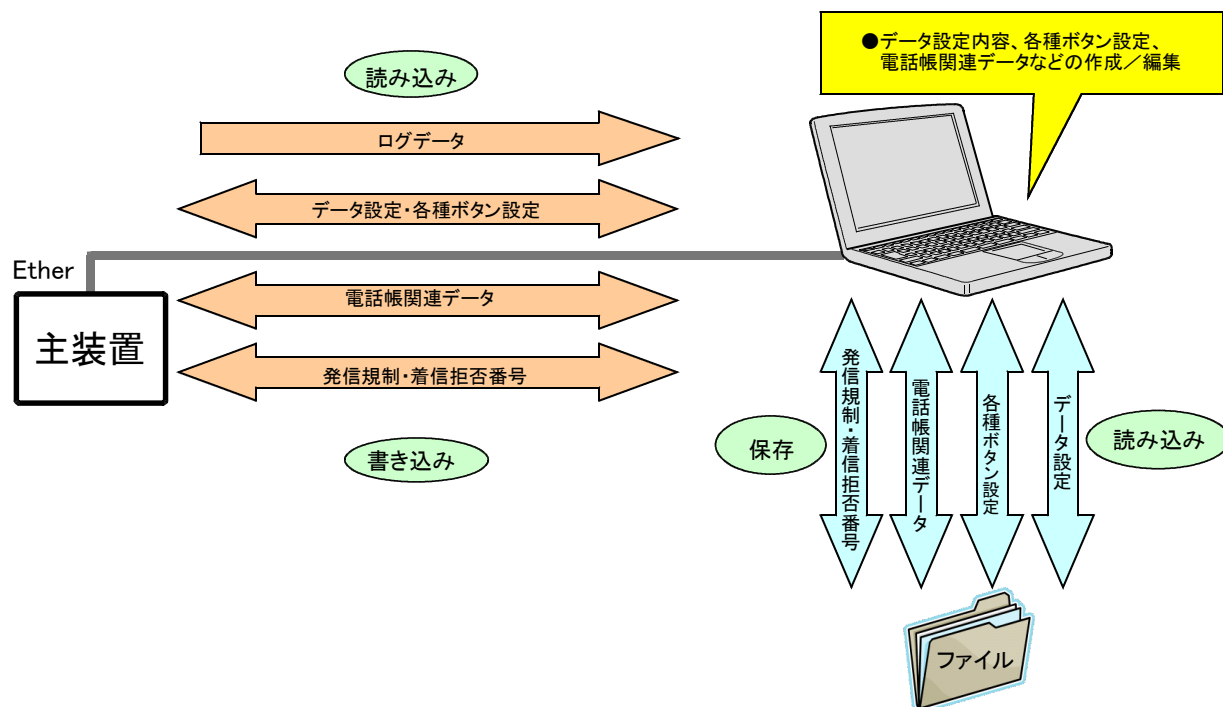
●主装置のログデータをパソコンに読み込む

主装置に保存しているログデータを読み込みます。読み込んだデータはファイルに保存できます。

●多機能電話アプリケーション設定用の二次元コードの作成

多機能電話アプリケーション(MFTAP2)設定用の二次元コードを作成します。アプリ側で読み込むと主装置に関する基本設定が簡単に行えます。

\*: 主装置に接続しないで、各種データの作成、ファイルへの保存、ファイルからの読み込みができます。  
(事前に設定ファイルを作成しておけます)

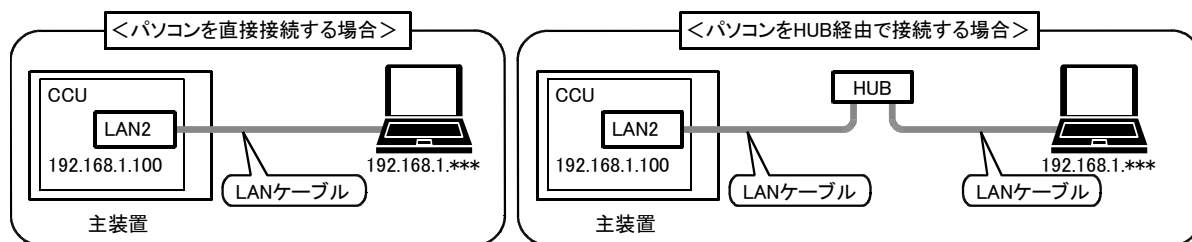


## 1-2 パソコンのハードウェア条件

- (1)パソコン: DOS/V(PC-AT互換機)
- (2)OS: Windows® 10 日本語版(32/64bit版対応)  
Windows® 11 日本語版
- (3)CPU: 各OSのシステム要件に準じる
- (4)必要メモリ容量: 1GB以上(32bit版OS)  
2GB以上(64bit版OS)  
4GB以上(Windows® 11)
- (5)ハードディスク容量: 500MB以上(セットアップ時)
- (6)画面サイズ: 1024×768ピクセル以上
- (7)ネットワーク: 100BASE-TX、ネットワークプロトコルとしてTCP/IPが動作するもの

## 1-3 接続方法

下図のように主装置にパソコンを接続します。



### ご注意

- 本プログラムは、Windowsのアカウントユーザーの種類を「管理者」に設定したパソコンでのみインストールおよび使用することができます。
- 主装置のIPアドレスの初期値は「192.168.1.100」になっています。主装置をLAN環境に接続する場合は、必要に応じてIPアドレスを変更してください。変更後は主装置の電源をOFF/ONしてください。  
⇒詳しくは、主装置の「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」のコマンド\*9400をご覧ください。
- お使いになれるブラウザは、以下のとおりです。  
「Microsoft Edge®」
- パソコンのIPアドレスを主装置のIPアドレスと同じセグメントに変更してください。  
例: 主装置が「192.168.1.100」の場合は「192.168.1.\*\*\*」を設定します(第3オクテットまで同一にする)。
- 「Microsoft Edge®」は下記の設定を行ってください。なお、「Microsoft Edge®」のバージョンによって設定項目等の表示内容、ボタン名、画面表示等が異なる場合があります(以降の説明も同様)。
  - ①画面右上の□(「設定など(Alt+F)」)をクリックし、メニューの「設定(S)」をクリックする
  - ②左側の設定メニューから「プライバシーとサービス」をクリックする
  - ③「閲覧データをクリア」の[ブラウザを閉じるたびにクリアするデータを選択する]をクリックする
  - ④「キャッシュされた画像とファイル」のトグルをオンにする
- ディスプレイの拡大率(表示スケール)は150%以下に設定してください。

## ご注意

- パソコンの「ファイアウォール」は「有効」にしないでください。読み込みや書き込みが正常にできなくなります。
  - ① [スタート]を右クリックして[設定]⇒[更新とセキュリティ]⇒[Windowsセキュリティ]を選択し、[ファイアウォールとネットワーク保護]をクリックする
  - ② 『ファイアウォールとネットワーク保護画面』の[詳細設定]をクリックする
  - ③ 『セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール画面』の[プロパティ]をクリックし、[パブリック プロファイル]タブをクリックする  
(使用するネットワークの場所が「ホームネットワークまたは社内(プライベート)ネットワーク」の場合は[プライベート プロファイル]タブをクリックする)
  - ④ 「保護されているネットワーク接続」の横にある **カスタマイズ(S)** をクリックし、主装置につないでいる接続のチェックを外し、 **OK** をクリックする
- 本プログラムを使用するときは、ほかのアプリケーションプログラムを終了してください。パソコンのシステムリソースが不足して詳細設定画面(Web画面)が開けなくなる場合があります。「メモリー不足のため、サーバが起動しませんでした。」というエラー画面が出たときは、パソコンを再起動してから本プログラムを起動してください。

## 1-4 新規インストール

本プログラムをはじめてインストールする手順は下記のとおりです。

- ①入手したファイルを実行します。
- ②これ以降は、画面の指示に従ってください。

### ●標準インストール先

「C:¥Program Files¥XI\_DSET1」フォルダ  
(64bit版OSの場合は、「C:¥Program Files (x86)¥XI\_DSET1」フォルダ)

### ●プログラム名

「DSETXIXXXX.exe」  
※プログラム名の「XXXX」はバージョンを示します。  
※プログラムをインストールすると、デスクトップにショートカットが作成されます。

### ●プログラムのバージョン確認方法

エクスプローラなどで、上記インストール先のフォルダにあるプログラムファイル(DSETAP-XI.exe)を右クリックし、プロパティでバージョン情報を確認してください。  
※プログラム起動後の『トップ画面』でもバージョンが確認できます。

★パソコンへのインストールは、管理者の権限で行う必要があります。ほかのユーザーでログインしてインストールすると、プログラムが正常に動作しません。

## 1-5 最新版のインストール

### (1) アップデート機能を使う

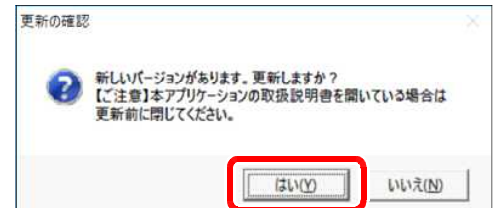
本プログラムには、インターネットを経由して行うアップデート機能があります。本機能を使うにはインターネットに接続しておく必要があります。最新版に更新する手順は下記のとおりです。

①『トップ画面』の **アップデート** をクリックします。

②『更新の確認画面』が表示されるので **はい(Y)** をクリックします。  
『確認中画面』が表示されます。



③アップデート版がある場合は、『更新の確認画面』が表示されるので、**はい(Y)** をクリックします。  
『ダウンロード画面』が表示されます。本プログラムの取扱説明書を開いている場合は閉じてください。



④ダウンロードが完了すると、インストーラーが起動するので、(2)の②以降の手順に従って更新してください。  
※ダウンロードしたファイルは、「ダウンロード」フォルダに保存されます。

### (2) 入手したアップデートファイルを使う

アップデートファイルを使って最新版に更新する手順は下記のとおりです。

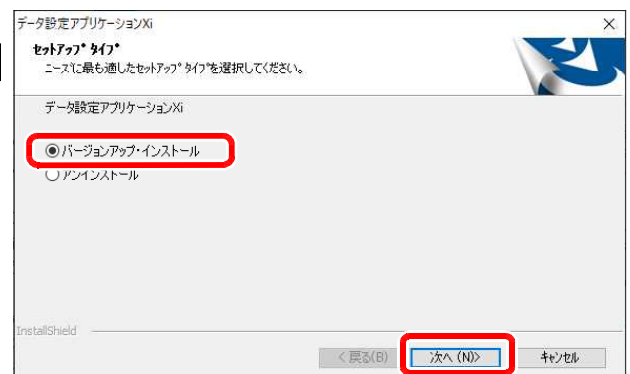
①入手したファイルを実行します。

②しばらくすると『セットアップタイプ画面』となります。

「バージョンアップ・インストール」を選択し、**次へ(N)>** をクリックしてください。

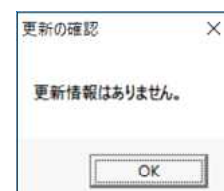
③これ以降は、画面の指示に従ってください。

※インストール先、プログラム名は古いバージョンと同じです。



### ご注意

- ★本プログラムは機能改善などのため、予告なく更新される場合があります。安定してご利用いただくために、最新版に更新してご利用ください。
- ★本プログラムをインストールする際に、ユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認してから **はい(Y)** をクリックしてください。
- ★本プログラムをインストールする際は、セキュリティソフトを一時的に無効(または停止)にしてください。無効にする方法については、お使いのセキュリティソフトの説明書などをご覧ください。
- ★本プログラムをインストールする際に、「WindowsによってPCが保護されました」が表示される場合があります。表示された場合は、「詳細情報」をクリックし、「アプリ」の右側に表示されているファイル名がインストールしようとしているものと同じであることを確認してから **実行** をクリックしてください。
- ★アップデート版がない場合は、右の画面が表示されます。  
**OK** をクリックすると、『トップ画面』に戻ります。



## 1-6 アンインストール

本プログラムをパソコンから削除する手順は下記のとおりです。

①[スタート]を右クリックし、[設定]⇒[アプリと機能]を検索します。

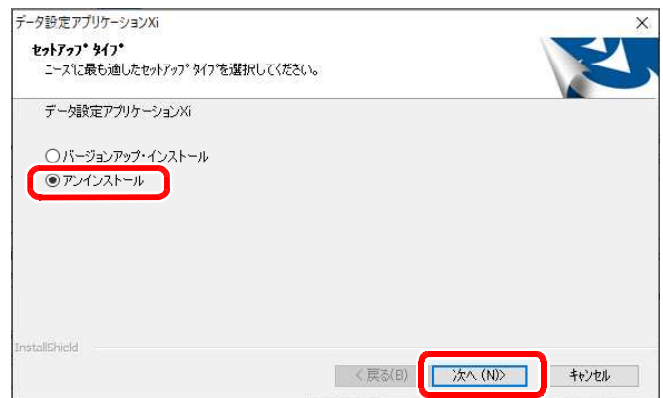
※[アプリと機能]が見つからない場合は、エクスプローラを開き、アドレスバーに  
"ms-settings:appsfeatures"と入力し **Enter** キーを押してください。

②本プログラムを選択し、**変更** または **アンインストール** をクリックします。

③しばらくすると『セットアップタイプ画面』となります。

「アンインストール」を選択し、**次へ(N)>** をクリックしてください。

④これ以降は、画面の指示に従ってください。



### ご注意

- ★本プログラムをアンインストールする際に、ユーザーアカウント制御警告が表示される場合があります。表示された場合には、ユーザーアカウントを確認してから **はい(Y)** をクリックしてください。
- ★本プログラムをアンインストールする際は、セキュリティソフトを一時的に無効(または停止)にしてください。無効にする方法については、お使いのセキュリティソフトの説明書などをご覧ください。

## 1-7 現在使用している主装置の設定を変更するときの注意

現在使用している主装置のデータ設定、電話帳関連データ、発信規制番号、着信拒否番号を変更するときは、下記に注意してください。

### ご注意

★本プログラムで各種設定データ(データ設定や電話帳関連データなど)を主装置に書き込むと、主装置内のデータは書き込んだデータに置き換わります。

データ設定済みの主装置のデータを変更するときは、下記の手順で行うようにしてください。特に電話帳関連データに関しては、お客様が変更・追加を行っている可能性がありますので注意してください。

①主装置から変更対象のデータを読み込む

主装置内のデータを取得します。

②本プログラムを終了しないで、取得したデータを編集する

必要に応じてファイルを保存してください。

★ファイルの読み込みは行わないでください。

③主装置に変更対象のデータを書き込む

主装置に変更したデータを戻します。

## 1-8 Q&A集

No.	質 問	回 答
1	「接続に失敗しました」のメッセージが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● *9403の設定が「ポートクローズ」になっていませんか？（「ポートオープン」にする必要があります。） ※ *9403の設定は工事者設定となります。お客様が本プログラムをご使用の場合は、特約店、販売店にお問い合わせください。</li> <li>● パソコンのIPアドレスは、主装置のIPアドレスと同一のセグメント内にありますか？（同一セグメントにしてください）</li> <li>● パソコンセキュリティソフト（例：ウイルスバスターなど）が常駐していませんか？（セキュリティソフトを停止して実行してください）</li> <li>● パソコンの「ファイアウォール」が有効になっていませんか？（無効にしてください）</li> <li>● ほかのパソコンから同時にアクセスしていませんか？（アクセスするパソコンは1台にしてください）</li> </ul>
2	主装置からデータを読み込むと「受信データの読み込みに失敗しました」とエラーメッセージが出て読み込みできない。 また、設定を変更しようすると、「メモリ不足のため、サーバが起動できませんでした。」とエラーメッセージが表示され、設定画面も見ることができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パソコンのメモリが不足しています。パソコンのメモリを増設してください。または、ほかのアプリケーションを終了してください。</li> </ul>
3	主装置にデータを書き込めない。 データ通信実行中画面が表示された後、0%の状態 で「接続に失敗しました」のメッセージが表示される。 これを何回か繰り返すとOKになる場合がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パソコンのLANドライバが古くありませんか？（最新のドライバに更新して、再度実施してください）</li> </ul>
4	設定中に画面の「登録」ボタンを押しても、入力データが画面に反映されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1-3章の「ご注意」に記載のブラウザに関する設定がされていますか？（設定を変更してください）</li> </ul>
5	主装置にデータを書き込んだら、外線ボタンのランプが点灯しなくなった。 ただし、発信、着信はできる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「データ設定ファイル」と「ボタン設定ファイル」の内容がアンマッチの場合に本現象となる場合があります。パソコンのクッキーなどの設定が正しくないとアンマッチのファイルができる可能性があります。 1-3章の「ご注意」に記載のブラウザに関する設定がされていますか？（設定を変更してください）</li> </ul>
6	主装置に電話帳関連データを書き込んだら、電話機の内線番号が消えてしまった。または、内容が変更されてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話帳関連データを書き込む前に電話帳関連データの読み込みを実施しましたか？ 電話帳関連データの書き込みを行う際には、必ず電話帳関連データを読み込んでから編集を行い、その後で書き込むようにしてください。 書き込む際は必要なデータに対するチェックボックスにだけチェックを入れるようにしてください。</li> </ul>
7	CSV形式で保存したファイルをExcel®で開いたら、電話番号の頭に「0」が付いていなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CSV形式のファイルをExcel®に読み込んだ場合、電話番号欄の頭の「0」は削除されます。この状態で保存してしまうと「0」は削除されたままとなります。ファイルを上書き保存しないように注意してください。 CSV形式のファイルの読み込み方法は、P2-17をご覧ください。</li> </ul>
8	夜間切替タイマを使用しているときに主装置にデータを書き込んだら、留守番のモードが切り替わってしまった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 夜間切替タイマが動作すると、夜間切替タイマで設定した留守番モードに関係するデータ設定（*601、*9104、*9100、*9109）が変更されます。本プログラムで書き込む上記のデータ設定が主装置側と異なる場合は、書き込んだデータ設定に従って留守番モードが切り替わります。 書き込みが終わったら主装置の電源をOFF/ONすると、夜間切替タイマで動作する留守番モードを元の状態に戻すことができます。困難な場合は、お客様に留守番モードが変更される場合があることを説明したうえで書き込みしてください。</li> </ul>
9	説明書を開こうとすると、「保護モードでのAppContainerの非互換性」というダイアログが表示されて、説明書が開けない(Acrobat Readerをお使いの場合)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「AppContainerが保護モードで無効になっている場合にReaderを開く」を選択し、<b>OK</b>をクリックしてください。本アプリケーションを閉じた後に、Acrobat Readerを開いて、「編集」→「環境設定」を選択し、「分類」から「セキュリティ(拡張)」を選択します。「サンドボックスによる保護」セクションで「起動時に保護モードを有効にする」の選択を解除し、<b>OK</b>をクリックしてください。その後は画面の指示に従ってください。</li> </ul>

### 1. 本プログラムの操作の流れ

本プログラムは、以下の流れで操作してください。（参照ページは、各操作を記載している章の先頭ページを示しています。）

#### [1] 事前に設定ファイルを作成する場合

- ①プログラムの起動 ⇒P2-2
- ②「ファイル作成」を選択 ⇒P2-2
- ③「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P2-5
- ④PCでの設定、ファイルに保存\*3 ⇒P2-6
  - データ設定・ボタン設定
  - 電話帳関連データ
  - 発信規制番号
  - 着信拒否番号

#### [2] 新規工事の場合(事前作成ファイルなし)

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P2-2
- ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2
- ④「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P2-5
- ⑤PCでの設定、ファイルに保存\*3 ⇒P2-6
  - データ設定・ボタン設定
  - 電話帳関連データ
  - 発信規制番号
  - 着信拒否番号
- ⑥主装置にデータを書き込み ⇒P2-22

#### [3] 新規工事の場合(事前作成ファイルあり)

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P2-2
- ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2
- ④ファイルの読み込み ⇒P2-6
  - データ設定・ボタン設定
  - 電話帳関連データ
  - 発信規制番号
  - 着信拒否番号
- ⑤主装置にデータを書き込み ⇒P2-22

※読み込んだ内容を変更するときは、④の後で実施し、ファイルに保存してください。

#### [4] 主装置からパソコンにデータを読み込む

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P2-2
- ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2
- ④主装置からデータを読み込み ⇒P2-2
- ⑤「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P2-5
- ⑥ファイルに保存\*1,3 ⇒P2-6
  - データ設定・ボタン設定
  - 電話帳関連データ
  - 発信規制番号
  - 着信拒否番号

#### [5] 主装置の設定を変更する場合

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P2-2
- ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2
- ④主装置からデータを読み込み ⇒P2-2
- ★必ず実行してください。**
- ⑤「ユーザー情報設定」を実行 ⇒P2-5
- ⑥PCでの変更\*2、ファイルに保存\*3 ⇒P2-6
  - データ設定・ボタン設定
  - 電話帳関連データ
  - 発信規制番号
  - 着信拒否番号
- ⑦主装置にデータを書き込み ⇒P2-22

**★④で読み込んだデータと異なるデータを書き込まないよう、注意してください。**

#### [6] 主装置のログデータを読み出す場合

- ①主装置とPCを接続 ⇒P1-2
- ②プログラムの起動 ⇒P2-2
- ③「主装置設定」を選択 ⇒P2-2
- ④ログデータの保存 ⇒P2-25

\*1: 必要なものを保存してください。

\*2: 主装置から読み込んだデータを変更します。

\*3: 二次元コードの作成(⇒P2-27)は、設定データをファイルに保存するタイミングで実施してください。

## 2. プログラムの起動～主装置データの読み込み

### ●事前確認 (主装置の「工事・保守マニュアル」をご覧ください。)

- (1) 主装置とパソコンは接続されているか？
- (2) 主装置側の「データ設定アプリ用ポート設定」はポートオープンになっているか？(\*9403)
- (3) 主装置のIPアドレス(\*9400)を変更した場合、主装置の電源のOFF/ONを行ったか？

## 1 本プログラムを起動すると『トップ画面』が表示されるので、使用している主装置のタイプを選択し、**主装置設定**をクリックする

### ●各ボタンの説明

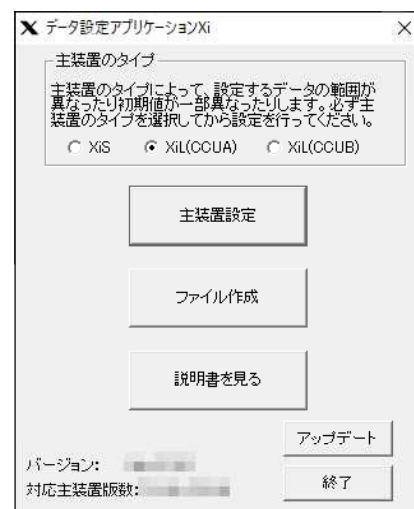
**主装置設定** …主装置に接続して、データ設定やボタン設定のデータ、電話帳関連データなどの読み込みや変更、書き込みを行うときなどに使用します。

**ファイル作成** …主装置に接続しないで、データ設定や設定データ、電話帳関連データなどのファイルを作成、変更するときなどに使用します。主装置へのアクセス(データの書き込み、読み込み)はできません。

**説明書を見る** …本説明書を表示するときに使用します。表示するためにはパソコンにPDF閲覧ソフトがインストールされている必要があります。

**アップデート** …本プログラムをアップデートするときに使用します。

**終了** …プログラムを終了します。



## 2 『ホスト名/IPアドレス・パスワード入力画面』となる接続されている主装置のIPアドレスとパスワードを入力して **OK** をクリックする

IPアドレスは、「192. 168. 1. 100」のようにドットを付けて入力してください。

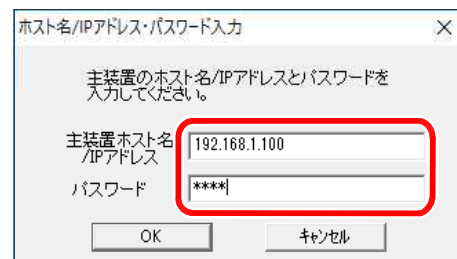
パスワードは設定したパスワードを入力してください。

※IPアドレスの初期値は192. 168. 1. 100、パスワードの初期値は0000です。

※パスワードは半角数字を使用します。

※手順1で **ファイル作成** を選んだ場合、この画面は表示されません。

(手順3に進みます)



※インターネット経由でアクセスする場合には、IPアドレスの代わりに主装置のホスト名を入力します。下記の設定も合わせて行ってください。

### ●主装置のホスト名について

XXXXXXXXXX. \*\*\*\*\*. hoshunet. jp

① ② ③

① 主装置のMACアドレス(12桁の16進数)です。下記の方法で確認することができます。

・「工事者」でログインした時のWeb設定の「TOPページ」

・メニュー機能(メニュー → ② その他 → ④ システム管理 → ① システム情報 → ② ② 主装置情報)

② 主装置のタイプです。

・XiSの場合… xiccus    ・XiLAの場合… xiccula    ・XiLBの場合… xicculb

③ 主装置に依存しない固定文字です。

### ●Web設定 \*W006「DDNSサーバ登録設定」を「あり」に設定してください。

### ●接続するルータの設定は以下のようにしてください。

・主装置に接続しているルータの設定……………ポート「9000」(TCP)と、\*W005のHTTPSポート番号で設定したポートを主装置のIPアドレスにマッピングしてください。

・本プログラムを実行しているパソコン

に接続しているルータの設定……………ポート「9000」(TCP)と、\*W005のHTTPSポート番号で設定したポートを本プログラムを実行しているパソコンのIPアドレスにマッピングしてください。

※Web設定 \*W013「データ設定アプリケーション用パスワード設定」でパスワードを変更している場合(0000以外を設定している場合)には、設定したパスワードを入力してください。

## 『工事者用メニュー画面』が表示される

## ●各ボタンの説明

**ユーザー情報設定** … ユーザーの会社名や電話番号などの情報を登録します。(ファイルに登録情報を付加します。)

**設定内容印刷** …パソコン上にある各種設定データを印刷します。

**データ読込(主装置→PC)** … 主装置に設定されている各種データ(データ設定、ボタン設定、電話帳関連データなど)をパソコンに読み込みます。必要なデータのボタンを押してください。

**データ書込(PC→主装置)** … パソコン上の各種データ(データ設定、ボタン設定、電話帳関連データ)を主装置に書き込みます。必要なデータのボタンを押してください。

**設定/ファイル操作** …パソコン上で各種データ(データ設定、ボタン設定、電話帳関連データなど)の変更、ファイルの保存、ファイル読み込みを行います。必要なデータのボタンを押してください。

**二次元コード作成** …多機能電話アプリケーション(MFTAP2)設定用の二次元コードを作成します。

**ログ取得～ファイル保存** …主装置のログ情報をパソコンに読み込みファイルに保存します。

工事者用メニュー

ユーザー情報設定 設定内容印刷

データ読込(主装置→PC)

データ設定・ボタン設定 電話帳関連データ 発信規制番号 着信拒否番号

データ書込(PC→主装置)

データ設定・ボタン設定 電話帳関連データ 発信規制番号 着信拒否番号

設定/ファイル操作

データ設定・ボタン設定 電話帳関連データ 発信規制番号 着信拒否番号

二次元コード作成

MFTAP2設定用

主装置ログ取得(主装置→PC)

ログ取得～ファイル保存

終了

## 「データ読込(主装置→PC)」にある下記のいずれかのボタンをクリックする

**データ設定・ボタン設定** … データ設定、ボタン設定の内容を読み込みます。

**電話帳関連データ** … 以下の電話帳関連データを読み込みます。

- ・電話帳データ(内線電話帳も含む)
- ・外線グループ名
- ・相手区分名
- ・付加情報定型文
- ・ワイヤレス呼出ボタン名称

**発信規制番号** … 発信規制番号を読み込みます。

**着信拒否番号** … 着信拒否番号を読み込みます。

工事者用メニュー

ユーザー情報設定 設定内容印刷

データ読込(主装置→PC)

データ設定・ボタン設定 電話帳関連データ 発信規制番号 着信拒否番号

データ書込(PC→主装置)

データ設定・ボタン設定 電話帳関連データ 発信規制番号 着信拒否番号

★データ設定内容にワンタッチダイヤルが設定されている場合は、下記の順番で読み込んでください。読み込みの順番が正しくないと、ワンタッチダイヤルの設定が正しく反映されません。

- ①電話帳関連データ
- ②データ設定・ボタン設定

★お客様が設定や電話帳を変更、追加している可能性がありますので、新規工事以外で設定を変更する場合は、必ず最初に主装置からデータを読み込んでください。

5

手順4で選んだボタンの『読込確認画面』が表示されるので、**OK** をクリックする

★読み込みには時間がかかる場合があります。読み込みが終わるまでそのままお待ちください。

★中断できないので注意してください。

★読み込むデータを良く確認してから操作を行ってください。

※**キャンセル** をクリックすると、『工事者用メニュー画面』に戻ります。

※読み込みを開始すると『データ通信実行中画面』が表示され、進行状況が表示されます。

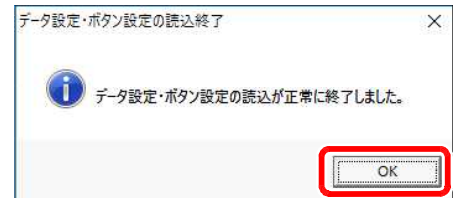


「データ設定・ボタン設定」を選んだ場合の例

6

読み込みが完了すると『読込終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする

『工事者用メニュー画面』に戻ります。



「データ設定・ボタン設定」を選んだ場合の例

### ご注意

★読み込み中は、ほかのアプリケーションを使用しないでください。通信エラーが発生することがあります。（特に、「デフラグ（ディスクの最適化）」は絶対に行わないでください。デフラグ中に読み込んだデータを主装置に書き込むと、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。）

★読み込み中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生したときには、読み込みをやり直してください。また、電話機側でデータ設定やプログラマブルキーの登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーが発生することがあります。

●エラーが発生したときは…

エラー画面の **OK** をクリックし、手順1からやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリの空きが少ないとエラーが発生しやすくなります。ほかのアプリケーションを終了したり、ディスプレイの色数を減らしたりすると改善できる場合があります。

### 3. ユーザー情報設定

お客様の会社名や電話番号などの情報を各設定ファイルや電話帳ファイルに保存することができます。

◆保存したファイルを読み込むと、『ユーザー情報設定画面』に設定した情報が表示されます。

設定は下記の手順で行います。（『工事者用メニュー画面』を表示するまでの手順は、P2-2をご覧ください。）

#### 1 『工事者用メニュー画面』で **ユーザー情報設定** をクリックする



#### 2 必要事項を入力し、**登録** をクリックする

『工事者用メニュー画面』に戻ります。

各欄は下記の範囲内で入力してください。  
お客様の名前や電話番号などの情報を入力しておきます。  
(データ設定内容には影響しません。)

- ユーザー名：全角20文字(半角40文字)まで  
お客様の会社名などを入力してください。
- 担当者名：全角12文字(半角24文字)まで  
担当の方の名前を入力してください。
- ユーザー電話番号：半角数字(市外局番6桁、電話番号16桁まで)  
お客様の電話番号を入力してください。
- 設置年月日：全角12文字(半角24文字)まで
- 設置メモ：全角36文字(半角72文字)まで  
改行も全角1文字とみなします。

## 4. データ設定

各種設定や電話帳関連データなどの変更、ファイルの保存、読み込みができます。  
下記の手順で行います。ここでは、「データ設定・ボタン設定」を選んだときを例に説明します。  
（『工事者用メニュー画面』を表示するまでの手順は、P2-2をご覧ください。）

### 1 『工事者用メニュー画面』で「設定／ファイル操作」にある下記のいずれかのボタンをクリックする

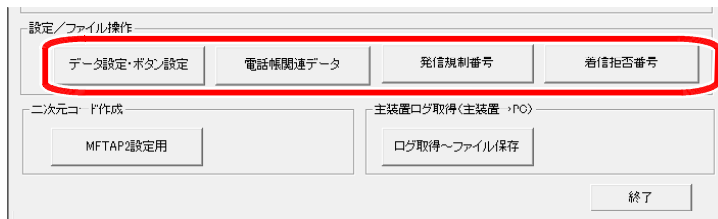
**データ設定・ボタン設定** … データ設定、ボタン設定の内容を編集します。

**電話帳関連データ** … 以下の電話帳関連データを編集します。

- ・電話帳データ(内線電話帳も含む)
- ・外線グループ名
- ・相手区分名
- ・付加情報定型文
- ・ワイヤレス呼出ボタン名称

**発信規制番号** … 発信規制番号を編集します。

**着信拒否番号** … 着信拒否番号を編集します。



### 2 手順1で選んだボタンの『メニュー画面』が表示される

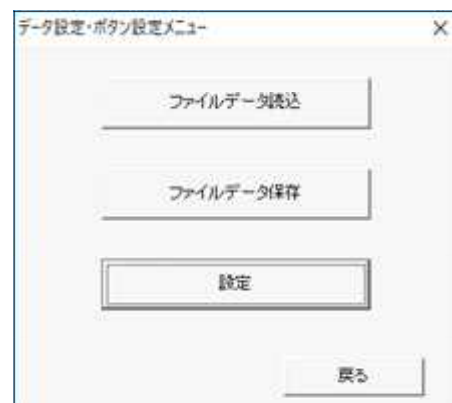
#### ●各ボタンの説明

**ファイルデータ読込** … 保存してある設定ファイルを読み込みます。

**ファイルデータ保存** … パソコン上にある各種設定データなどをファイルに保存します。

**設定** … パソコン上で設定内容を編集します。

**戻る** … 『工事者用メニュー画面』に戻ります。

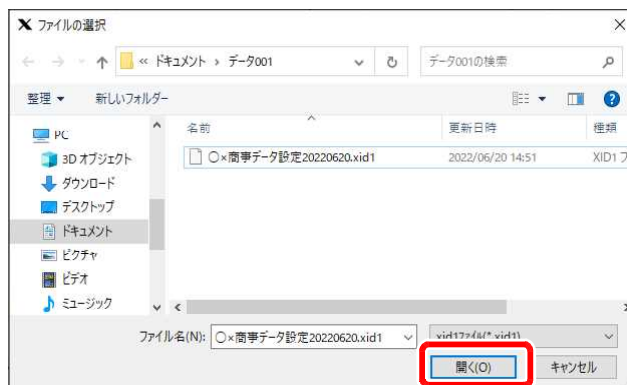


★作成済みのファイルを修正するときは、「設定」を行う前に「ファイルデータ読込」を行ってください。

① 『メニュー画面』で **ファイルデータ読込** をクリックします。

② 『ファイル選択画面』で読み込むファイルの種類を選択します。

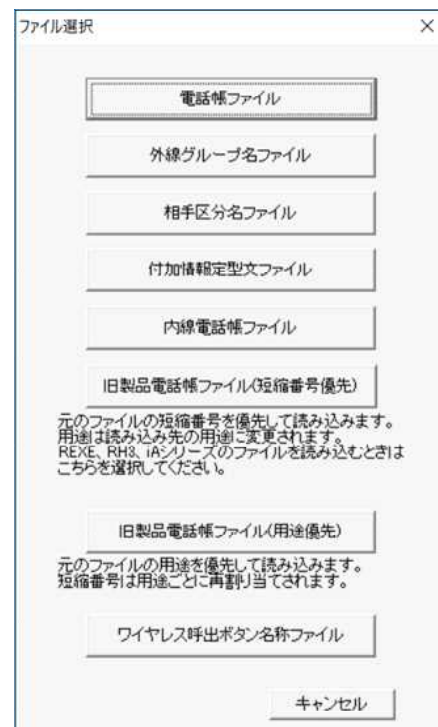
③ 読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックします。



★「ファイルデータ読込」を行う場合は、下記の順番で各データを読み込んでください。読み込みの順番が正しくないとボタン設定の内容が反映されない場合があります。

- ① データ設定ファイル
- ② 電話帳ファイル
- ③ 内線電話帳ファイル
- ④ ボタン設定ファイル

手順1で、「電話帳関連データ」を選択した場合、『電話帳関連メニュー画面』で「ファイルデータ読込」をクリックすると、右の『ファイル選択画面』が表示されます。読み込むファイルの種類を選択してください。  
『ファイルの選択画面』が表示されるので、読み込みたいファイルを選択して **開く(O)** をクリックするか、読み込みたいファイルをダブルクリックします。



## 旧シリーズの電話帳データを読み込むには...

旧シリーズ(REXE、RH3、iA、iE、iF、Si シリーズ)の電話帳データファイルを読み込めます。

上記の『ファイル選択画面』で、**旧製品電話帳ファイル(短縮番号優先)** または **旧製品電話帳ファイル(用途優先)** をクリックしてファイルを読み込んでください。

ただしマイ電話帳は読み込めません。マイ電話帳は旧シリーズで読み出したCSVファイルを編集してから読み込んでください。⇒P2-13

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| <b>旧製品電話帳ファイル(短縮番号優先)</b> | : 元のファイルの「短縮番号」の設定を優先して読み込みます。「用途」の設定は読み込み先の「用途」に変更されます。<br>REXE、RH3、iAシリーズのファイルを読み込むときはこちらを選択してください。 |
| <b>旧製品電話帳ファイル(用途優先)</b>   | : 元のファイルの「用途」の設定を優先して読み込みます。「短縮番号」の設定は「用途」ごとに再割り当てされます。   |

## 『メニュー画面』で **設定** をクリックすると、設定用の画面が表示される

- 各ページを開くと、現在の設定内容(主装置から設定を読み込んだときは主装置の設定内容、ファイルを読み込んだときはファイルに保存していた設定内容)が表示されます。
- 下記に設定用の画面の構成と基本的な操作方法を説明しています。
- 下記の画面は概略の説明用です。表示内容は実際と異なる場合があります。

左上のフレームで設定したい項目を選んでください。項目(サブ項目含む)をクリックすると、左下のフレームに関連するコマンドの一覧が表示されます。変更したいコマンドをクリックし、各設定を行います。ボタン設定を行うときは、左上のフレームで項目を選んだ後に、左下のフレームで設定したい電話機の収容位置を選んでから設定してください。

**システム・保守系コマンド**

\*0001 【特番】

各種機能の特番を設定します。

※注意※ 1～4桁の半角数字/※/※  
 ・\*0079=0(可変桁設定なし)の場合、桁数は\*0080に従う。  
 ・\*0079=1(可変桁設定あり)の場合、桁数は\*0080の桁数以下。ただし、機能番号0000の桁数は\*0080に従う。  
 ・0～9以外に\*※の設定も可能(機能番号0000、0001は対象外)。ただし、\*0079=1(可変桁設定あり)の場合、※は先頭のみ設定可能。

機能番号	内 容	特 番	機能番号	内 容	特 番	機能番号	内 容
000	外線自動発信グループ01	0	441	インカム1参加		722	内線グループ
001	外線自動発信グループ02		442	インカム2参加			
002	外線自動発信グループ03		443	インカム3参加			
003	外線自動発信グループ04		444	インカム4参加			
004	外線自動発信グループ05		445				
005	外線自動発信グループ06		446				
006	外線自動発信グループ07		500				
007	外線自動発信グループ08						
008	外線自動発信グループ09						
009	外線自動発信グループ10						
010	外線自動発信グループ11		600	内線一斉呼出			
011	外線自動発信グループ12		601	内線グループ01呼出			

収容位置と内線番号の対応表を表示させるときにクリックします。

テナント番号の名称を表示させるときにクリックします。

表示しているページの先頭に  
戻るときにクリックします。

前ページ <<

登録

>> 次ページ

対象電話機 - 内線番号対応表  
 テナント番号 - テナント名称対応表

現在表示している前ページに移動するとき  
をクリックします。

現在表示している次ページに移動するとき  
をクリックします。

現在表示しているページの設定内容を登録します。

【注】設定内容を登録するとき、別のページに移動する前に必ずクリックしてください。  
 クリックをしないと、変更した内容は登録されません。

### ご注意

- ★「データ設定アプリ用ポート設定」(\*9403)を「ポートクローズ」(0)に変更してデータを書き込むと、それ以降は主装置データの読み込みや書き込みができなくなりますので、注意してください。
- ★同じ値を設定できないデータ設定コマンド(例: \*0030、\*0081、\*0082、\*0084など)に重複設定した場合には、最後に入力したデータが必ずしも有効にはなりません。また、設定範囲外のデータを入力できる場合があります。**登録** をクリックすると更新結果が表示されますので、間違いがないか確認してください。

## 必要な項目を設定する

- 主装置の「工事・保守マニュアル(2. データ設定マニュアル編)」の各コマンド説明を見ながら設定を行ってください。
- 下記に示す4種類の入力方法(表示のみを含む)があります。

種 類	表 示 例	操 作 方 法
ラジオボタン		設定する項目をクリックします。赤色の枠は現在の設定を表します。
リストボックス		プルダウン表示される候補を選択します。 ※ブラウザの拡大率を変更すると文字が正しく表示されない場合があります。拡大率を変えて正しく表示されるようにしてお使いください。
エディットボックス		直接入力します。設定範囲外のデータを入力できる場合がありますが、電話機からのデータ設定と異なりエラー表示はしません。 必ずデータ設定マニュアルをご覧の上、有効な値を入力してください。
表示のみ		モニタのみで、入力できません。グレーアウト表示となっています。

- 主装置のシステムデータ設定のほかに、電話帳関連データ、ボタン設定、発信規制番号、着信拒否番号の設定を行うことができます。詳しい説明は欄外および次ページの説明をご覧ください。

### ①電話帳、内線電話帳:

電話帳には以下の内容を入力します。

#### ●グループ電話帳

電話番号、名前、ヨミガナ、外線グループ番号、番号種別、相手区分、表示モード、定型文(表示モードが「ユーザ定型文」のとき)

#### ●マイ電話帳

電話番号、名前、ヨミガナ、外線グループ番号、マイ電話帳登録電話機

#### ●内線番号・仮想内線番号(内線一般着信)、特番

内線名称、ヨミガナ

- ・一部の記号(\*、#、P、M、-)を電話番号欄に入力できます。
- ・電話番号、外線グループ番号、番号種別は、3つまで登録できます。
- ・電話帳の種類を変更するときは、データを登録する前に用途番号設定欄から該当するものを選んでください。(ページ内にデータが登録されていない場合に変更できます)

全電話機グループで共用: 「00」      電話機グループ内で使用: 「01~20」

マイ電話帳: 「99」

★複数の短縮番号に同じ電話番号が入力されている場合、**登録** をクリックすると「短縮番号〇〇〇〇番と△△△△番が重複して登録されています。」というエラー画面が表示されます。エラー画面の **OK** をクリックすると、重複していてもそれらは短縮番号に登録されます。電話番号を重複して登録する必要がないときには、どちらかの短縮番号を削除し再登録してください。

- 用途欄の値が同じ場合のみ電話番号の重複チェックを行います。
- 3つ以上の短縮番号に同じ電話番号が入力されている場合は、若番側から2つの短縮番号がエラー画面に表示されます。

★電話機で電話帳を登録したときに電話帳の名前に携帯電話マーク(📞)が登録されていると、正常に表示できません。変更を行わずにそのまま登録すると、元の名前のままとすることができます。

### ②外線グループ名:

外線グループの名前(全角6文字、半角12文字まで)を登録します。登録した名前は、電話帳に表示されます。

### ③相手区分名:

相手区分の名前(全角7文字、半角14文字まで)を登録します。登録した名前は、電話帳に表示されます。

### ④付加情報定型文:

付加情報として表示するための文章(全角10文字、半角20文字まで)を登録します。表示モードに「ユーザ定型文」を設定したときに選択される文章です。

### ⑤なんでもワンタッチボタン:

電話機からの登録と異なり、選択できるボタンの種類が限られています。電話機でのみ登録できるボタンがすでに登録されている場合は、「新しい登録」欄に「変更不可」が表示されます。「新しい登録」欄にはリストボックスに表示されるボタン(右下の表に示す項目を含む)のみ登録ができます。

1	現在の登録	登録なし	現在の登録内容を表示します。
	新しい登録	登録なし	
2	現在の登録	登録なし	登録するボタンをプルダウンで表示されるものから選択します。
	新しい登録	登録なし	

ボタン以外の項目	備 考
登録なし	操作を登録しません。「登録なし」を登録した番号以降の設定は無視されます。
変更不可	現在の登録内容から変更できません。

### ⑥ワンタッチダイヤル、内線ワンタッチ(DSS/BLF)ボタン、内線ボックスボタン、ゴミ箱ボタン、プログラマブルキー:

現在の登録内容が表示されます。

リストボックスに表示される機能(下表)を選択し、設定値を入力します。

キー番号	KEY01	現在の登録内容を表示します。
現在の登録	外線01	
機能選択	001:外線01	登録するボタンの種類をプルダウンで表示されるものから選択します。
設定値		
		各ボタンに登録する設定値を入力します。

機能選択	設定値	備 考
変更なし	—	現在の登録内容のままにするとときに選択します。
000:機能なし	—	現在の登録を消去します。
ワンタッチダイヤル	短縮番号(4桁)	ワンタッチダイヤルボタンを登録します。電話帳に電話番号が登録されていない短縮番号を入力した場合、「登録」をクリックしても入力反映されません。
内線ワンタッチボックス	内線番号/特番(1~4桁)	内線ワンタッチダイヤルボタンを登録します。
機能番号001~999	—	プログラマブルキーを登録します。
留守録ゴミ箱	留守録ゴミ箱番号(01~48)	留守録ゴミ箱ボタンを登録します。
内線BOXゴミ箱	内線BOXゴミ箱番号(1~4桁)	内線BOXゴミ箱ボタンを登録します。

※1. 短縮ダイヤル発信時に入力する短縮ダイヤル番号の桁数を1~3桁に変更することもできますが、ワンタッチダイヤルボタンは電話帳に登録した4桁の短縮番号を登録します。

### ⑦発信規制番号:

発信規制対象の電話番号(最大24桁の半角数字)を登録します。同じ番号を複数登録することはできません。

### ⑧着信拒否番号:

着信拒否対象の電話番号(最大16桁の半角数字)を登録します。同じ番号を複数登録することはできません。

### ⑨キー設定・着信音設定コピー:

電話機のプログラマブルキーなどのキー設定を、ほかの電話機にコピーするときに使います。コピー先の範囲を指定してコピーできます(1台にだけコピーするときは、最終収容位置と先頭収容位置を同じにしてください)。

### ⑩ワイヤレス呼出ボタン名称:

ワイヤレス呼出ボタンの名称(全角4文字、半角8文字まで)を登録します。登録した名称は着信時に表示されます。

#### コピーペースト機能について

設定したデータをコピーすることができます。下記の手順でコピーします。

- ① コピー元の選択欄にチェックを入れ、「コピー」をクリックする
- ② コピー先の選択欄にチェックを入れ、「貼り付け」をクリックする  
(「貼り付け」がグレーアウトされているときは貼り付けできません)

※「削除」・・・チェックのついた行のデータを削除します。「切り取り」・・・別の行に移動するときに使います。



8

『ファイル選択画面』が表示されるので、保存したいファイルの種類を選択し、クリックする



9

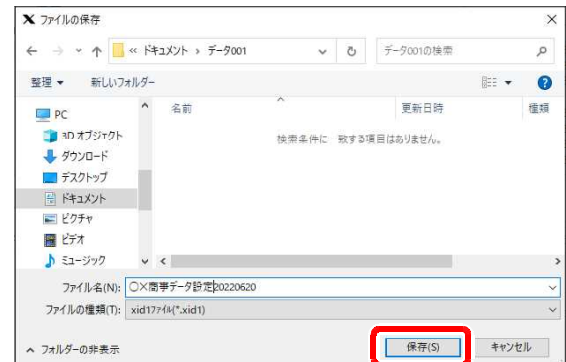
『ファイルの保存』画面が表示されるので、ファイル名を入力して **保存(S)** をクリックする

現在設定中の設定内容がファイルに保存されます。

※お客様ごとにファイルやフォルダを作ると管理しやすくなります。

※ファイルの拡張子は、以下のようになります。

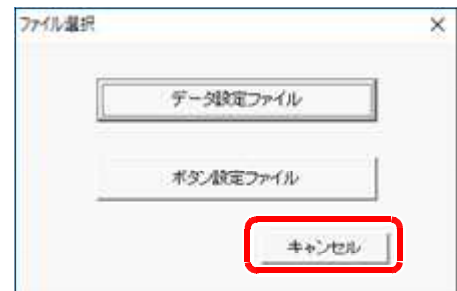
データ設定 :	xid1
電話帳 :	xid2
外線グループ名 :	xid3
相手区分名 :	xid4
付加情報定型文 :	xid5
内線電話帳 :	xid6
ボタン設定 :	xid7
発信規制番号 :	xid8
着信拒否番号 :	xid9
ワイヤレス呼出ボタン名称 :	xida



10

『ファイル選択画面』に戻るので、**キャンセル** をクリックする

保存したいファイルがほかにあるときは、手順8と9を繰り返してファイルを保存してください。

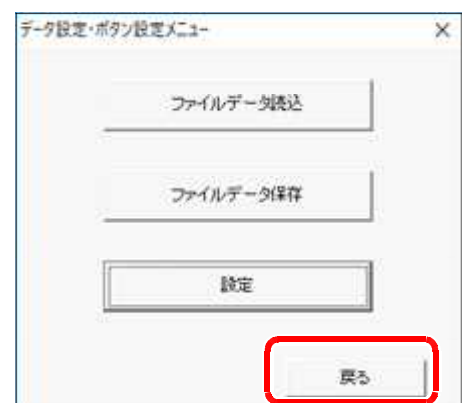


11

『メニュー画面』が表示されるので、**戻る** をクリックする

『工事者用メニュー画面』に戻ります。

- 設定したデータを主装置に書き込む場合は…  
P2-22をご覧ください。
- 設定したデータを印刷する場合は…  
P2-18をご覧ください。



## ●Excel®を使用して各種データを作成、編集する

Excel® を使用して電話帳、内線電話帳データなどを作成したり、編集したりする場合は、CSV形式のファイルを使用します。

### (1)Excel®で各種ファイルを作成する

Excel® を使用して各種データを作成し、CSV形式で保存すると、本プログラムでそのファイルを読み込むことができます。 ※Excel® の使用方法はExcel® の説明書をご覧ください。

下記の手順に従って作成してください。

#### ①下記に示すフォーマットで一覧を作成する。

(すべてのセルの書式を「文字列」に設定してから作成してください。)

#### ■電話帳データ

必ず0000を入力 →

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	短縮番号	名前	ヨミガナ	電話番号1	外線グルー	番号種別1	電話番号2	外線グルー	番号種別2	電話番号3
2	0000	東京本社	トウキョウホンシャ	031234XXXX	01	1	031234XXXX	02	3	
3	0001	大阪支社	オオサカシヤ	061234XXXX	01	1		00	0	
4	0002	名古屋支店	ナゴヤテン	052123XXXX	01	1		00	0	
5	0003	鈴木携帯	スズキケイタイ	090111XXXX	02	1		00	0	
6	0004	斉藤携帯	サイトウケイタイ	090222XXXX	02	1		00	0	
7	0005	佐藤携帯	サトウケイタイ	090333XXXX	02	1		00	0	
8	0006	青×商事	アヲ○ショウジ	045123XXXX	04	2		00	0	
9	0007	佐々木	サザキ	045123XXXX	04	2		00	0	
10	0008	中島携帯	ナカジマケイタイ	090444XXXX	04	2		00	0	

●1行目: 「短縮番号」、「名前」、「ヨミガナ」、「電話番号1」、「外線グループ番号1」、「番号種別1」、「電話番号2」、「外線グループ番号2」、「番号種別2」、「電話番号3」、「外線グループ番号3」、「番号種別3」、「相手区分」、「マイ電話帳登録電話機」、「表示モード」、「定型文1」、「定型文2」という文字列(すべて全角)を上記の順番どおりに入力します。

●短縮番号: 0000から始まる連番(4桁)を半角数字で入力します。

短縮番号は必要なものだけを入力してください(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の0000は必ず入力してください。

●名前: 相手の名前をスペースは入れずに入力します。全角10文字(半角20文字)まで。

●ヨミガナ: 電話帳検索で使用するカナ名称をスペースは入れずに入力します。半角20文字まで。

●電話番号1~3: 電話番号を入力します。半角数字または記号(\*、#、P、M、-)24文字まで。

●外線グループ番号1~3: 外線グループ番号(00:指定なし、01~16外線グループ番号)を半角数字で入力します。

●番号種別1~3: 番号種別(0:指定なし、1:代表番号、2:携帯電話、3:ダイヤルイン、4:FAX)を半角数字で入力します。

●相手区分: 相手区分(01~30:相手区分を表す番号)を半角数字で入力します。

●マイ電話帳登録電話機: マイ電話帳に登録する場合には、対象となる内線の収容位置を半角数字で入力します。共通電話帳の場合は0を入力します。

●表示モード: 付加情報の表示内容を半角数字で入力します。

0(付加情報なし): 何も表示しません。

2(前着信履歴): 前回、着信したときの日時を表示します。

1(電話帳詳細): 電話帳の詳細情報を表示します。

3(ユーザ定型文): ユーザが設定した定型文を表示します。

●定型文1, 2: 表示モードを「ユーザ定型文」にしたときに、表示される定型文の番号を入力します。000を入力すると何も表示しません。

★名前・ヨミガナに半角の「/」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。

★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください(住所データなど)。

★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの電話番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

★各項目の入力データが指定文字数を超過している場合、超過している部分は本プログラムで取得できませんので注意してください。

★マイ電話帳に登録するときは、以下のように値を入力してください。

番号種別1~3 : 0 相手区分 : 01

表示モード : 0 定型文1, 2 : 000

## ■内線電話帳データ

必ず101を入力 →

	A	B	C	D
1	収容位置	内線番号	内線名称	ヨミガナ
2	101	101	高橋	タカハシ
3	102	102	佐藤	サトウ
4	103	103	青木	アオキ
5	104	104	田中	タナカ
6	105	105	庄司	ショウジ
7	106	106	木村	キムラ
8	107	107	伊藤	イトウ

- 1行目: 「収容位置」、「内線番号」、「内線名称」、「ヨミガナ」という文字列(すべて全角)を上記の順番どおりに入力します。
  - 収容位置: 101から始まる連番(3桁)を半角数字で入力します。  
収容位置は必要なものだけ入力してください。(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の101は必ず入力してください。
  - 内線番号: 内線番号を入力します。半角数字1~4桁(入力桁数は\*0080の設定に従ってください)。
  - 内線名称: 内線名称をスペースは入れずに入力します。全角10文字(半角20文字)まで。
  - ヨミガナ: 電話帳検索で使用するカナ名称をスペースは入れずに入力します。半角20文字まで。
- ★内線名称・ヨミガナに半角の「/」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。
- ★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください。
- ★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの内線番号一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。
- ★各項目の入力データが指定文字数を超過している場合、超過している部分は本プログラムで取得できませんので注意してください。
- ★内線番号の項目について\*0080の設定と異なる桁数の内線番号を入力している場合、内線番号を本プログラムで取得できませんので注意してください。また、同じ内線番号を複数入力しないでください。

## ■外線グループ名

必ず01を入力 →

	A	B	C	D
1	外線グループ	外線グループ名		
2	01	NTT回線		
3	02	ソフトバンク		
4	03	ドコモ		
5	04	au		
6	05	IP回線		
7	06			

- 1行目: 「外線グループ」、「外線グループ名」という文字列(すべて全角)を上記の順番どおりに入力します。
  - 外線グループ: 01から16までの番号を半角数字で入力します。  
外線グループは必要なものだけ入力してください。(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の01は必ず入力してください。
  - 外線グループ名: 外線グループ名をスペースは入れずに入力します。全角6文字(半角12文字)まで。
- ★外線グループ名に半角の「/」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。
- ★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください。
- ★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの外線グループ一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。
- ★各項目の入力データが指定文字数を超過している場合、超過している部分は本プログラムで取得できませんので注意してください。

## ■相手区分名

必ず01を入力 →

	A	B	C	D
1	相手区分	相手区分名		
2	01	得意先		
3	02	社外		
4	03	営業所		
5	04	社員		
6	05			

●1行目:「相手区分」、「相手区分名」という文字列(すべて全角)を上記の順番どおりに入力します。

●相手区分: 01から30までの番号を半角数字で入力します。

相手区分は必要なものだけ入力してください。(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の01は必ず入力してください。

●相手区分名: 相手区分名をスペースは入れずに入力します。全角7文字(半角14文字)まで。

★相手区分名に半角の「/」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。

★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください。

★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの相手区分一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

★各項目の入力データが指定文字数を超過している場合、超過している部分は本プログラムで取得できませんので注意してください。

## ■付加情報定型文

必ず001を入力 →

	A	B	
1	項番	付加情報定型文	
2	001	月曜日は定休日	
3	002	携帯電話	
4	003	緊急用	
5	004	お客様	
6	005		
7	006		

●1行目:「項番」、「付加情報定型文」という文字列(すべて全角)を上記の順番どおりに入力します。

●項番: 001からの連番(3桁)を半角数字で入力します。

項番は必要なものだけ入力してください。(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の001は必ず入力してください。

●付加情報定型文: 表示させたい内容を入力します。全角10文字(半角20文字)まで。

★付加情報定型文に半角の「/」、「¥」、「<」、「>」は使用しないでください。

★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください。

★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みの付加情報定型一覧がある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

★各項目の入力データが指定文字数を超過している場合、超過している部分は本プログラムで取得できませんので注意してください。

★同じ項番を複数入力しないでください。

## ■発信規制番号、着信拒否番号

必ず0000を入力 →

	A	B	C	D
1	項番	電話番号		
2	0000	031234XXXX		
3	0001	061234XXXX		
4	0002	052123XXXX		
5	0003	090111XXXX		
6	0004	090222XXXX		
7	0005	090333XXXX		
8	0006	090444XXXX		
9	0007	090555XXXX		
10	0008	090666XXXX		

●1行目:「項番」、「電話番号」という文字列を、上記の順番どおりに入力します。

●項番: 0000から始まる連番(4桁)を半角数字で入力します。

必要な項番だけを入力してください(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の0000は必ず入力してください。

●電話番号: 電話番号を入力します。(発信規制番号: 半角数字24文字まで、着信拒否番号: 半角数字16文字まで)

★入力文字にカンマ「,」は使用しないでください。また、指定されているセルは必ず入力し、上記以外のセルにはデータを入力しないでください(名前など)。

★指定以外のフォーマットで作成した場合や、上記の入力条件に従わずに作成したファイルは利用できません。すでに作成済みのファイルがある場合は、指定のフォーマットに編集し直してください。

★各項目の入力データが指定文字数を越えている場合、越えている部分は本プログラムで取得できませんので注意してください。

★同じ項番を複数入力しないでください。

★発信規制番号と着信拒否番号はフォーマットが同じです。ファイルを作成したり、読み込んだりするには、それぞれを間違わないよう十分に注意してください。

## ■ワイヤレス呼出ボタン名称

必ず101を入力 →

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	収容位置	ボタンA名称	ボタンB名称	ボタンC名称	ボタンD名称	ボタンE名称	ボタンF名称	ボタンG名称	ボタンH名称
2	101	洗面所	トイレ						
3	102	1 番目	2 番目	3 番目					
4	103	ひまわり	あさがお	すみれ					

●1行目:「収容位置」、「ボタンA名称」、「ボタンB名称」・・・「ボタンH名称」という文字列を、上記の順番どおりに入力します。

●収容位置: 101から始まる連番(3桁)を半角数字で入力します。

収容位置は必要なものだけを入力してください(すべての番号を入力する必要はありません)。先頭の101は必ず入力してください。

●ボタンA～H名称: ボタン名称を入力します。(全角4文字、半角8文字まで)

## ②作成が終わったら、CSV形式で保存する。

※CSV形式のほか、Excel®の通常の形式でもファイルに保存しておくことをおすすめします。

CSV形式のファイルをExcel®に読み込んだ場合、各セルの先頭の「0」が削除されますので、別途編集作業を行う場合は通常の形式で保存したファイルを利用した方が便利です。

## ③P2-6の手順2の「ファイルデータ読込」で、②で保存したCSV形式ファイルを読み込んでください。

※CSV形式のファイルを読み込んだ後に、詳細画面で正常にデータが表示されていることを確認してください。(電話番号の先頭に「0」が入っていることを確認してください)

## (2) 本プログラムで保存したCSV形式のファイルを編集する

本プログラムで作成した電話帳関連、発信規制番号、着信拒否番号の各データは、CSV形式でファイルを保存できます。後からExcel<sup>®</sup>を使用してこれらのデータを編集することができます。

Excel<sup>®</sup> でCSVファイルを開いたり、エクスプローラでCSV形式のファイルをダブルクリックして開くと、電話番号欄の先頭の「0」が削除されてしまい、編集ができなくなります。下記の方法で読み込んでから編集してください。

※Excel<sup>®</sup> のバージョンによって、表示内容が異なることがあります。

### ①エクスプローラなどで、読み込みたいCSVファイルの拡張子を「txt」に変更する。

(例:「〇×商事電話帳.csv」を、「〇×商事電話帳.txt」に変更する。)

### ②Excel<sup>®</sup> を起動し、①で作成したファイルを開く。(必ず、Excel<sup>®</sup> の操作でファイルを開いてください。)



操作2: ①で作成したtxtファイルを選択し、ダブルクリックまたは「開く」を押す

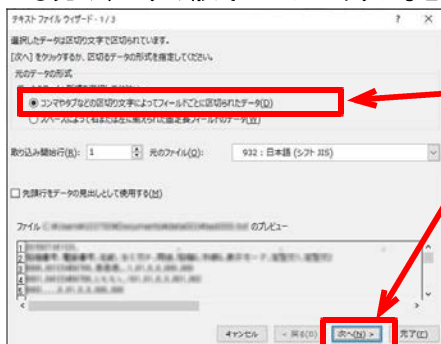
操作1: すべてのファイル(\*)に変更する

### ③画面の指示に従って、操作する。

※以下の画面が表示されないときは、Excel<sup>®</sup> のオプション設定を変更して②からやり直してください。

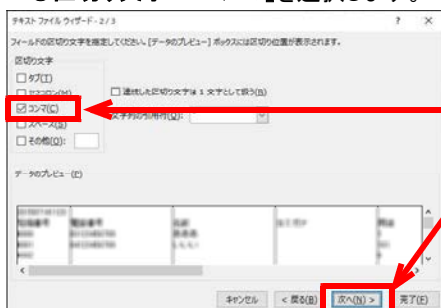
オプションの「データ」タブを開き、「レガシ データ インポート ウィザードの表示」オプションで「テキストから(レガシ)(T)」にチェックを付けて「OK」をクリックします。

●元のデータの形式: 「コンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」を選択します。



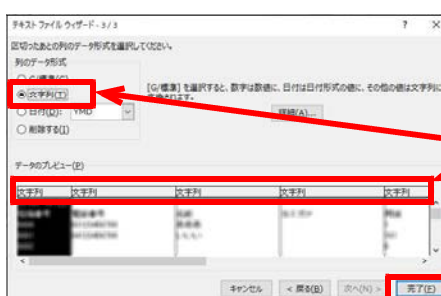
「コンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)」を選択し、「次へ(N)」をクリックする

●区切り文字: 「コンマ」を選択します。



「コンマ(C)」にのみチェックを入れて、「次へ(N)」をクリックする

●列のデータ形式: すべての列のデータ形式を「文字列」(テキスト)にします。



すべての列のデータ形式を「文字列」(テキスト)に変更し、「完了(F)」をクリックする

### ④完了(F) をクリックし、ファイルが開いたら(1)に従って編集作業を行う。

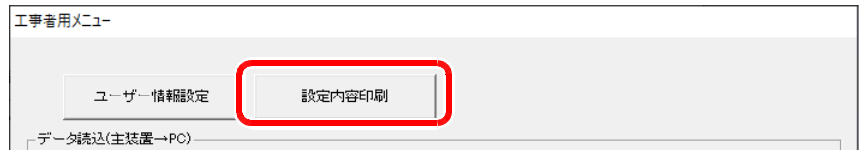
★編集を行う前に、1行目(12桁の数字が記載されている行)は必ず削除してください。(1)で示したフォーマットのみ本プログラムで読み込むことができます。

## 5. 設定内容の印刷

データ設定や電話帳などの設定内容を印刷できます。

下記の手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの手順は、P2-2をご覧ください。)

### 1 『工事者用メニュー画面』で **設定内容印刷** をクリックする



### 2 『印刷対象選択画面』が表示されるので、印刷したい内容のボタンをクリックする

#### ●各ボタンの説明

**データ設定** … データ設定内容を印刷します。

**携帯ブラウザ連携** … 携帯ブラウザ連携に関するデータを印刷します。

**Web設定/アプリ専用コマンド** … Web設定/アプリ専用コマンドに関するデータを印刷します。

**ボタン設定** … ワンタッチダイヤルボタンなどの登録内容を印刷します。

**電話帳** … 電話帳データを印刷します。

**内線電話帳** … 内線電話帳データを印刷します。

**発信規制番号** … 発信規制番号データを印刷します。

**着信拒否番号** … 着信拒否番号データを印刷します。

**ワイヤレス呼出ボタン名称** … ワイヤレス呼出ボタン名称データを印刷します。

**データ設定(変更点のみ)** … 初期値から変更された設定内容のみを印刷します。

**キャンセル** … 『工事者用メニュー画面』に戻ります。



### 3 『印刷種別選択画面』が表示される

※ **データ設定** を選んだ場合には、「分類」で印刷するコマンドの種類を指定できます。

**ボタン設定** を選んだ場合には、「対象電話機選択」で印刷する電話機を、「表示するボタン数の選択」でそのボタン数を指定できます。

**電話帳** を選んだ場合には、「短縮番号指定」で印刷する短縮番号の範囲(開始と終了)を指定できます。

#### ●各ボタンの説明

**プレビュー表示** … 印刷プレビューを表示してから印刷することができます。また、ページを指定して印刷することもできます。(⇒P2-19)

※プリンタの指定はできません。「既定のプリンタ」に設定されているプリンタで印刷します。

※印刷部数は指定できません。印刷部数は1部のみです。

※2ページ分が横並びで印刷されます。

**ダイアログ表示** … プリンタや印刷方法、印刷部数を指定してから印刷することができます。(⇒P2-20)

※ページを指定して印刷することはできません。全ページを印刷します。

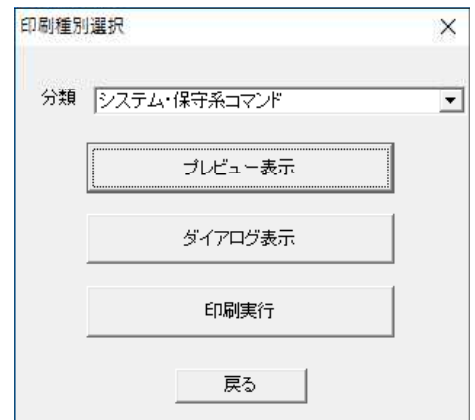
**印刷実行** … 印刷を実行します。

※プリンタの指定はできません。「既定のプリンタ」に設定されているプリンタで印刷します。

※ページを指定して印刷することはできません。全ページを印刷します。

※2ページ分が横並びで印刷されます。

**戻る** … 『印刷対象選択画面』に戻ります。



※これ以降のページでは、**プレビュー表示** を選択した場合と **ダイアログ表示** を選択した場合について説明します。( **印刷実行** を選択した場合の説明は省略します。)

## ■ プレビュー表示 を選択した場合

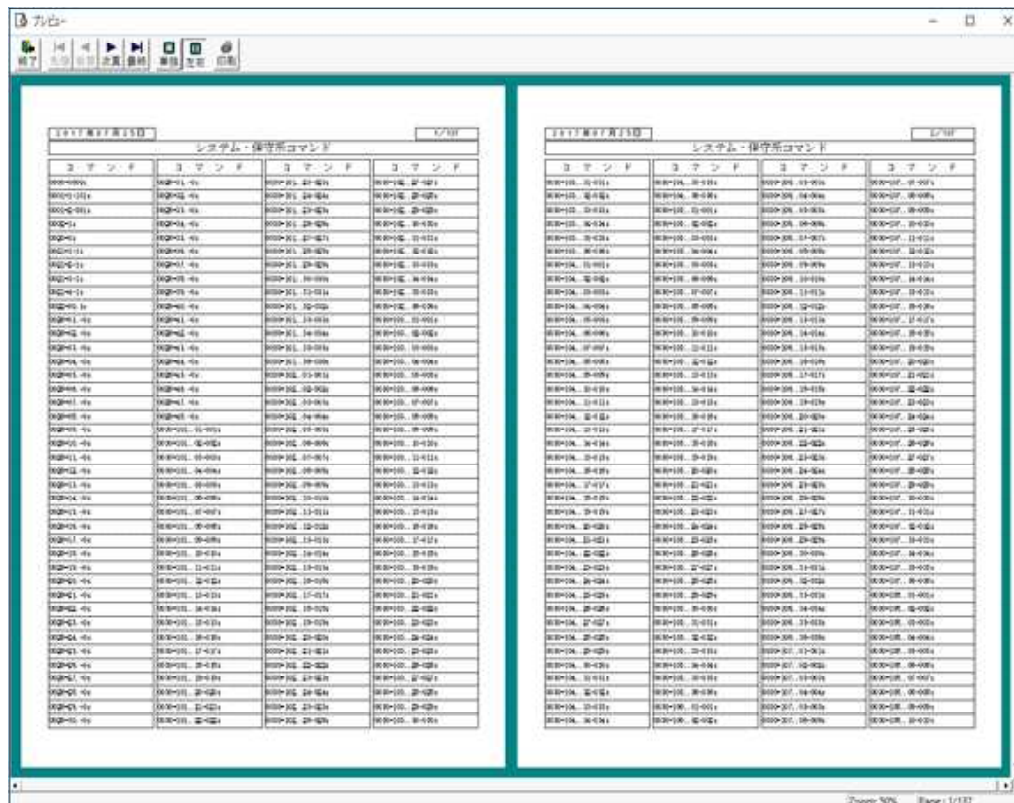
4

『印刷種別選択画面』で **プレビュー表示** をクリックすると、『プレビュー画面』が表示される

※プレビュー画面は左クリックで拡大、右クリックで縮小ができます。

(下の画面は、左右に2ページ表示した例を示しています。)

※各ボタンの操作ができるまで、しばらく時間がかかります。



### ●各ボタンの説明



… プレビューを終了します。



… 1ページごとに表示します。



… 左右に2ページ表示します。



… 印刷を行います。(『印刷画面』を表示)



… 先頭のページを表示します。



… 前ページを表示します。



… 次ページを表示します。



… 最終のページを表示します。

5

『プレビュー画面』の **印刷** をクリックすると、『印刷画面』が表示されるので、印刷方法を選択し **印刷(P)** をクリックする

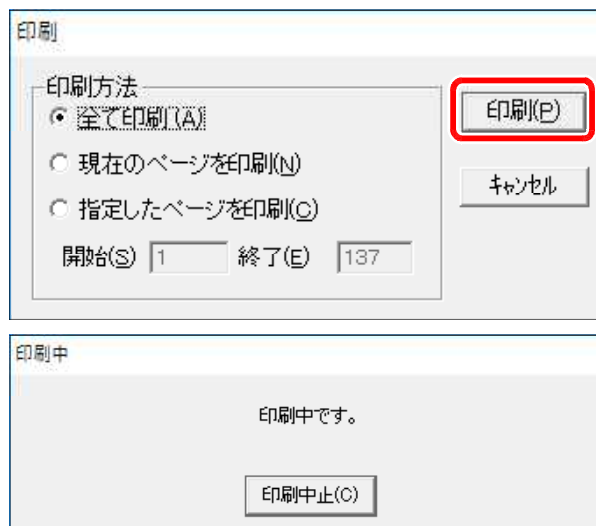
中止するときは、**キャンセル** をクリックしてください。

★「現在のページを印刷(N)」を選択した場合、プレビュー画面で2ページ表示をしていますが、左側に表示しているページを印刷します。

『印刷中画面』が表示されます。

途中で印刷を中止するときは、**印刷中止(C)** をクリックしてください。

印刷が終了したら、『プレビュー画面』の **終了** をクリックすると、『印刷種別選択画面』に戻ります。



## ■ ダイアログ表示 を選択した場合

4

『印刷種別選択画面』で **ダイアログ表示** をクリックすると、『プリンタ選択画面』が表示される

プリンタ選択

プリンタ  
プリンタ(P): [プリンタ名] プロパティ(S)

状態: 準備完了  
種類: [種類]  
出力先: [出力先]

部数(N): [1]  
☐ 出力用紙指定(O)

用紙(A): A4 用紙フィット(J)  
給紙(B): 自動選択 任意倍率(K) (L): 100

印刷方向: ☒ 縦印刷(C) ☐ 横印刷(D)  
縮小拡大: ☐ ON(E) ☐ OFF(F) ☐ マルチ印刷(M)

位置合わせ: ☒ 左上(G) ☐ 中央(H) ☐ 中央線(I) ☐ 縦方向(N) ☐ 横方向(O)

※位置合わせの「中央線」はマルチ印刷時のみ有効です。

OK キャンセル

注: 画面表示は一例です。お使いのプリンタによって異なります。

### ●各フィールドの説明

- ・**プリンタ(P)**… 印刷に使うプリンタを選択します。(複数のプリンタが使用できるとき)  
※XPSファイルの出力には対応していません。「Microsoft XPS Document Writer」は選択しないでください。
- ・**部数(N)**… 印刷部数を指定します。
- ・**出力用紙指定(O)**… 出力方法を変更するときに使用します。チェックを入れると **プロパティ(S)** が有効になり、プリンタのプロパティが設定できるようになります。  
※プリンタのプロパティでマルチ印刷(2ページ分の割り付けなど)を行う場合も、本画面で印刷方向や縮小拡大(用紙フィット)の設定などが必要になります。どのように印刷されるか、ページ数の少ない「内線電話帳」で事前に試してください。
- ・**給紙(B)**… プリンタの給紙方法を選択します。
- ・**マルチ印刷(M)**… 「出力用紙指定(O)」にチェックを入れたときに有効です。通常は1枚に1ページ分を印刷しますが、マルチ印刷を指定すると、1枚に2ページ分を印刷します。

### ＜参考＞

マルチ印刷で1枚に2ページ分を印刷するときは、下記の設定をしてください。

- ・「出力用紙指定(O)」をチェック
- ・マルチ印刷(M): 「横方向(O)」
- ・印刷方向: 「横印刷(D)」
- ・縮小拡大: 「ON(E)」
- ・位置合わせ: 「左上(G)」
- ・「用紙フィット(J)」を指定

プリンタ選択

プリンタ  
プリンタ(P): [プリンタ名] プロパティ(S)

状態: 準備完了  
種類: [種類]  
出力先: [出力先]

部数(N): [1]  
☒ 出力用紙指定(O)

用紙(A): A4 用紙フィット(J)  
給紙(B): 自動選択 任意倍率(K) (L): 100

印刷方向: ☐ 縦印刷(C) ☒ 横印刷(D)  
縮小拡大: ☒ ON(E) ☐ OFF(F) ☒ マルチ印刷(M)

位置合わせ: ☒ 左上(G) ☐ 中央(H) ☐ 中央線(I) ☐ 縦方向(N) ☒ 横方向(O)

※位置合わせの「中央線」はマルチ印刷時のみ有効です。

OK キャンセル

5

『プリンタ選択画面』で **OK** をクリックすると印刷が開始され、『印刷中画面』が表示される

途中で印刷を中止するときは、**印刷中止(C)** をクリックしてください。

印刷が終了すると『印刷種別選択画面』に戻ります。

印刷中

印刷中です。

印刷中止(C)

6

『印刷種別選択画面』で **戻る** をクリックする

印刷種別選択

分類 システム・保守系コマンド

プレビュー表示

ダイアログ表示

印刷実行

戻る

7

『印刷対象選択画面』に戻るので、**キャンセル** をクリックする

ほかに印刷したい内容があるときは、該当するボタンをクリックし手順3から繰り返します。

印刷対象選択

データ設定 Web設定/アプリ専用コマンド

携帯ブラウザ連携 ボタン設定

電話帳 内線電話帳

発信規制番号 着信拒否番号

ワイヤレス呼出ボタン名称 データ設定(変更点のみ)

キャンセル

8

『工事者用メニュー画面』に戻る

工事者用メニュー

ユーザー情報設定 設定内容印刷

データ転送(主装置→PC)

## 6. 主装置への設定データの書き込み

パソコンで編集したり保存したりしている各種設定データ(データ設定や電話帳関連データなど)を主装置に書き込みします。

※各設定データはそれぞれ個別に書き込みます。

下記の手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの手順は、P2-2をご覧ください。)

### 1 『工事者用メニュー画面』で、「データ書込(PC→主装置)」にある下記のいずれかのボタンをクリックする

**データ設定・ボタン設定** … データ設定、ボタン設定の内容を主装置に書き込みます。

**電話帳関連データ** … 以下の電話帳関連データを主装置に書き込みます。

- ・電話帳データ(内線電話帳も含む)
- ・外線グループ名
- ・相手区分名
- ・付加情報定型文
- ・ワイヤレス呼出ボタン名称

**発信規制番号** … 発信規制番号を書き込みます。

**着信拒否番号** … 着信拒否番号を書き込みます。



★データ設定内容にワンタッチダイヤルが設定されている場合は、下記の順番で書き込んでください。書き込みの順番が正しくないと、ワンタッチダイヤルの設定が正しく反映されません。

- ①電話帳関連データ
- ②データ設定・ボタン設定

★お客様が設定や電話帳を変更・追加している可能性があります。新規工事以外で設定を変更する場合は、必ず最初に主装置からデータを読み込んでください。

- ①主装置からデータを読み込む(必要なもの) ⇒P2-2
- ②「ファイルデータ読込」は行わずに読み込んだデータを修正する。⇒P2-6  
※ファイルを読み込むと、①で読み込んだデータが置き換えられます。
- ③主装置にデータを書き込む(必要なもの)

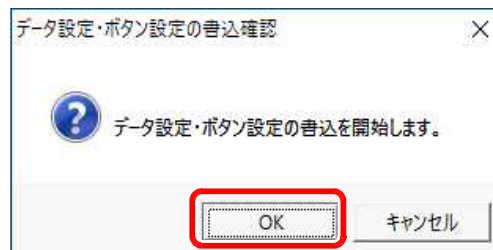
### 2 『書込確認画面』が表示されるので、**OK** をクリックする

★書き込みには時間がかかる場合があります。書き込みが終わるまでそのままお待ちください。

★書き込むデータを良く確認してから操作してください。

★**OK** クリック後は、書き込みを中断できないので注意してください。

※**キャンセル** をクリックすると、『工事者用メニュー画面』に戻ります。



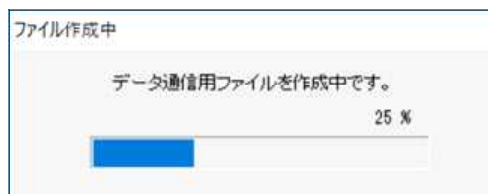
電話帳関連データを書き込む場合には、書き込みたいデータ(短縮番号や内線電話帳など)のチェックボックスだけにチェックを入れてから、**OK** をクリックしてください。

中止する場合には、**キャンセル** をクリックします。



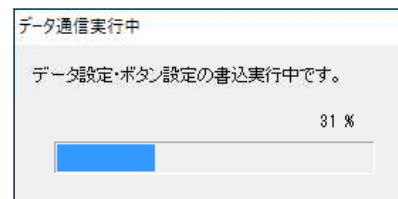
『ファイル作成中画面』が表示される(「電話帳関連データ」を選んだ場合は表示されません)

※ファイル作成の進行状況が表示されます。



ファイル作成が完了すると、『データ通信実行中画面』が表示される(右図は「データ設定・ボタン設定」を選んだ場合の例)

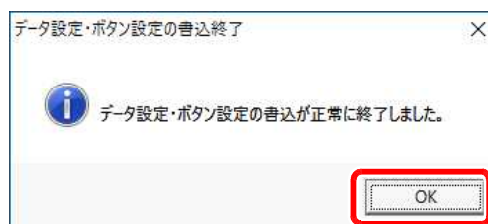
※書き込みの進行状況が表示されます。



書き込みが完了すると『書込終了画面』が表示されるので、**OK**をクリックする

(「データ設定・ボタン設定」の例)

『工事者用メニュー画面』に戻ります。



## ご注意

★書き込み中は、ほかのアプリケーションを使用しないでください。通信エラーが発生することがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中に書き込みすると、システムが使用不可となり主装置の初期化が必要です。)

★書き込み中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生したときには、書き込みをやり直してください。また、電話機側でデータ設定やプログラマブルキーの登録操作など、設定に関係する操作は絶対に行わないでください。

※上記以外の場合でもエラーが発生することがあります。

### ●エラーが発生したときは…

エラー画面の **OK** をクリックし、手順1からやり直してください。必ず、書き込みを最後まで完了させてください。途中で中止した場合、主装置側のデータが不完全のままとなり、正常に動作しなくなります。

◆パソコンのスペック不足やメモリの空きが少ないとエラーが発生しやすくなります。ほかのアプリケーションを終了したり、ディスプレイの色数を減らしたりすると改善できる場合があります。

★電話機で電話帳を使用しているときに、本プログラムで電話帳データを書き込んだ場合、電話機で表示している番号とは異なる番号に発信したり、発信そのものができないことがあります。電話帳データを書き込む場合は、なるべく電話機で電話帳を操作していないときに行ってください。

電話機で内線電話帳を使用しているときも同様です。内線発信後に表示される内線名称が内線電話帳の検索時と異なった表示となる場合があります。

★次のデータ設定コマンドは同じデータを重複して設定できません。

\*740、\*741、\*751、\*769、\*830、\*831、\*9187、\*9224、\*9419、\*9432、\*9436、\*9452、\*9482、\*9500、\*9502

すでに主装置側が設定されている場合は、本プログラムから書き込んだときに一部またはすべてのデータが設定されないことがあります。主装置側でこれらの設定をすべてクリアしてから、本プログラムで書き込んでください。

※本プログラムでこれらの設定をすべてクリアしたものを書き込むと、主装置側の設定をすべてクリアすることができます。

★夜間切替タイマが動作すると、夜間切替タイマで設定した留守番モードに関するデータ設定(\*601、\*9100、\*9104、\*9109)が変更されます。本プログラムで書き込む上記のデータ設定が主装置側と異なる場合は、書き込んだデータ設定に従って留守番モードが切り替わります。

書き込み終了後に主装置の電源をOFF/ONすると、夜間切替タイマで動作する留守番モードを元の状態に戻すことができますが、それが困難な場合は、お客様に留守番モードが変更される場合があることを説明したうえで書き込んでください。

★夜間切替中、留守切替中にデータ設定(\*641、\*643)を変更すると動作が不安定になることがあるため、運用中には変更しないでください。

## ご注意

★プログラマブルキーの設定(プログラマブルキーの一括設定、ボイスメモ再生ボタンの自動割り付けを含む)、ストレートラインDIの設定など、ボタンの割り付けが変更になる設定を行った場合は、ランプ表示がおかしくなることがあります。故障ではありません。システムを再起動してください。

システムの再起動は下記の手順で行ってください。

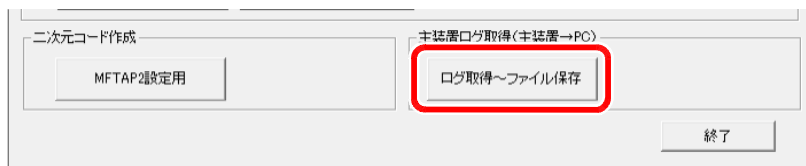
- ①主装置の電源スイッチをOFFにする。 ⇒ ②約10秒経過後に電源スイッチをONにする。

## 7. ログデータの保存

主装置に記録しているシステムログを読み込んで、ファイルに保存することができます。

下記の手順で行います。（『工事者用メニュー画面』を表示するまでの手順は、P2-2をご覧ください。）

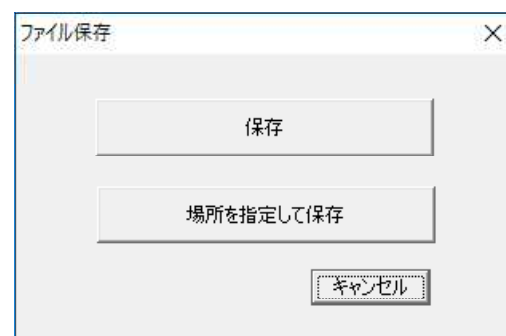
- 1 『工事者用メニュー画面』で、**ログ取得～ファイル保存** をクリックする



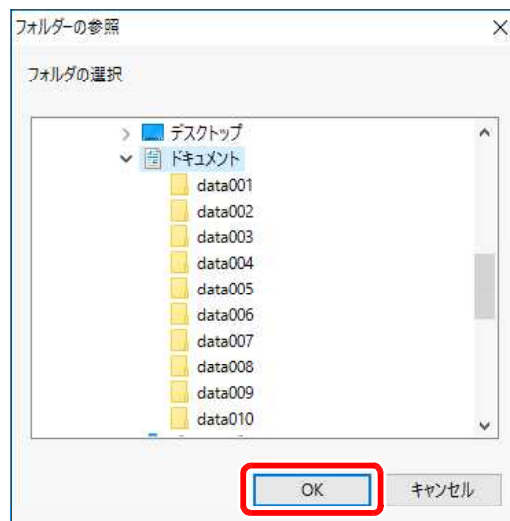
- 2 『ファイル保存画面』が表示されるので、以下のいずれかのボタンをクリックする

**保存** … ダウンロードフォルダに保存します。

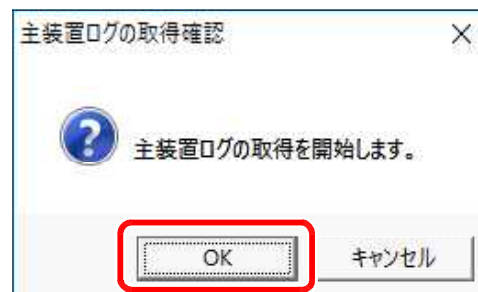
**場所を指定して保存** … 保存するフォルダを指定して保存します。



- 3 **場所を指定して保存** を選んだ場合は、『フォルダーの参照画面』が表示されるので、フォルダを選んで **OK** をクリックする

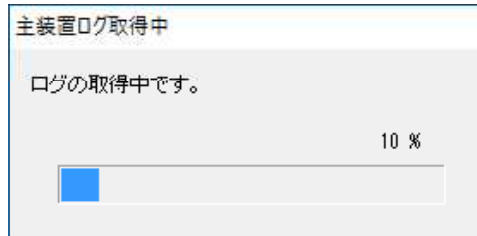


- 4 『主装置ログの取得確認画面』が表示されるので、**OK** をクリックする



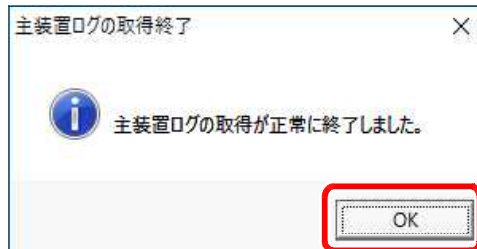
## 5 『主装置ログ取得中画面』が表示される

※進行状況が表示されます。



## 6 保存が完了すると、『主装置ログの取得終了画面』が表示されるので、**OK** をクリックする

『工事者用メニュー画面』に戻ります。



### ご注意

★ログの取得中は、ほかのアプリケーションを使用しないでください。通信エラーが発生することがあります。(特に、「デフラグ(ディスクの最適化)」は絶対に行わないでください。デフラグ中に取得したログデータは中味が壊れている可能性があります。)

★ログの取得中に電話機を使用することもできますが、電話機の使用頻度が高くなると通信エラーが発生することがあります。通信エラーが発生したときには、取得し直してください。

※上記以外の場合でもエラーが発生することがあります。

#### ●エラーが発生したときは…

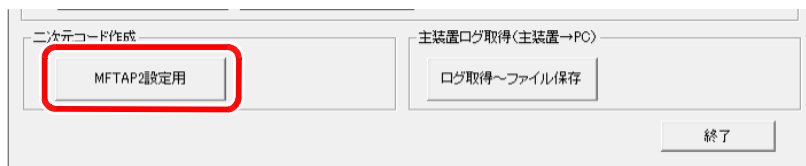
エラー画面の **OK** をクリックし、手順1からやり直してください。

◆パソコンのスペック不足やメモリの空きが少ないとエラーが発生しやすくなります。ほかのアプリケーションを終了したり、ディスプレイの色数を減らしたりすると改善できる場合があります。

## 8. 設定用二次元コードの作成

多機能電話アプリケーション(MFTAP2)設定用の二次元コードを作成します。保存用に印刷もできます。  
下記の手順で行います。(『工事者用メニュー画面』を表示するまでの手順は、P2-2をご覧ください。)

### 1 『工事者用メニュー画面』で、**MFTAP2設定用** をクリックする



### 2 『二次元コード作成-MFTAP2画面』が表示されるので、各項目を入力し、**作成** をクリックする

各項目は下記の範囲内で入力してください。

#### ・収容位置:

先頭と最終の収容位置をプルダウンで選んでください。1回の操作で最大10台分のコードが作成できます。10台以上のコードを作成するときは必要な分を繰り返して作成してください。1台分だけの場合は、最終の収容位置を空白にしてください。

※内線番号が設定されていない場合は、コードは作成されません。

#### ・主装置MACアドレス:

12桁の16進数を入力します。「どこでもでんわ」をご利用の場合は必ず入力してください。確認方法はP2-2をご覧ください。

#### ・どこでもでんわの利用有無:

いずれかを選びます。

### 3 『プレビュー画面』が表示されるので、設定させたい端末で対象の二次元コードを読み込む

※コードの読み込み方法はお使いの多機能電話アプリケーション(MFTAP2)の説明書をご覧ください。

※10台以上の場合は必要な台数分、手順2からの操作を繰り返してください。

※プレビュー画面は左クリックで拡大、右クリックで縮小ができます。

#### ●各ボタンの説明



… プレビューを終了します。



… 先頭のページを表示します。



… 最終のページを表示します。



… 前ページを表示します。



… 次ページを表示します。



… 1ページごとに表示します。



… 左右に2ページ表示します。



… 印刷を行います。(『印刷画面』が表示されます。P2-19の手順5を参考に印刷してください。印刷は既定のプリンタに対して行われます。)

